

1 2 月 1 0 日 (火)

(第 2 日 目)

令和元年第8回南関町議会定例会（第2号）

令和元年12月10日

午前10時00分開議

於 議 場

1. 議事日程

開会宣告

議事日程の報告

日程第1 一般質問

① 8番議員 ② 5番議員

2. 出席議員は次のとおりである。（11名）

1番 西田 恵介 君

2番 北原 浩一郎 君

3番 中村 正雄 君

4番 立山 比呂志 君

5番 杉村 博明 君

6番 井下 忠俊 君

7番 立山 秀喜 君

8番 打越 潤一 君

9番 鶴地 仁 君

11番 境田 敏高 君

12番 橋永 芳政 君

3. 欠席議員なし

4. 地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者の職氏名（11名）

町 長 佐藤 安彦 君 税務住民課長 古澤 平 君

副町長 大木 義隆 君 福祉課長 島崎 演 君

教育長 谷口 慶志郎 君 経済課長 東田 彰夫 君

総務課長 北原 宏春 君 建設課長 嶋 永健一 君

会計管理者 寺本 一誠 君 教育課長 赤木 二三也 君

まちづくり課長 坂田 浩之 君

5. 職務のため会議に出席した事務局職員の職氏名（2名）

議会事務局長 橋本 清孝 君 書記 福山 尚樹 君

開議 午前10時00分

-----○-----

○議長（橋永芳政君） 起立、礼、おはようございます。着席。

これから本日の会議を開きます。

議事日程は、お手元に配付のとおりです。

-----○-----

日程第1 一般質問

○議長（橋永芳政君） 日程第1、一般質問を行います。

発言の通告があつていますので、順次発言を許します。8番議員の質問を許します。

8番議員。

○8番議員（打越潤一君） おはようございます。今回の質問は平成29年度3月議会、平成30年、3月議会に取り上げた県道大牟田植木線、県道玉名八女線の交通安全施設の進捗状況と町道改良米田鬼王線、米田大場線等の進捗状況を聞くものです。地元米田としては、産業廃棄物処理施設エコアくまもと受け入れ後の振興対策の進捗状況が非常に気になってきたところです。県からの管理型最終処分場交付金2,000万円が令和2年度で終了するため、この時期を目途に工事が終わればと期待していたものです。

次に昨年8月に県・町JAたまなの強力な後押しのもとに立ち上げた農事組合法人よなだの1年経過した状況を振り返り質問をします。質問事項1交通安全施設の進捗状況について。質問の要旨、県道大牟田植木線、県道玉名八女線のその後の進み具合を尋ねます。質問事項2町道改良について。質問の要旨、米田鬼王線、米田大場線の今後の進め方などを尋ねます。質問事項の3、集落営農について。質問の要旨、法人立ち上げ後の協力・指導体制を尋ねます。組織地盤が確立するにはどう指導されていったか。南関町の各地域に拡げていくことができるかお尋ねします。いずれも町長にお尋ねします。

後の質問は自席において行います。

○議長（橋永芳政君） 8番議員の質問に対する答弁を求めます。

町長。

○町長（佐藤安彦君） 皆様、改めましておはようございます。8番打越潤一議員の交通安全施設の進捗状況について県道大牟田植木線、県道玉名八女線その後の進み具合を尋ねるの御質問にお答えします。

いずれも県道ですので、熊本県玉名地域振興局土木部によって事業がなされているもので、県に確認をしましたところでお答えいたします。まず、県道大牟田植木

線につきましては、北の辺田工区の歩道整備が終わり今年度は野中橋の歩道整備が行われております。次に県道玉名八女線についてですが、これまでも道路管理者の県に対して、期成会等を通じ幾度となく早期改良を求めているところではありますが、県全体の予算配分もあり早急に対応できてないのが現状であります。これからも機会があるごとに要望を続け早期実現に努めて参りたいと考えております。

次に道路改良について、米田鬼王線、米田大場線等の今後の進め方を尋ねるの御質問にお答えいたします。町道米田鬼王線につきましては、バンブーフロンティア株式会社付近に隣接する町道鬼王大場線に接するところまでは完成しております。その先につきましては、底地の用地所有者が山砂を採取された後に、用地の交渉となっておりますので、しばらくは時間がかかると思われませんが、道路の線形につきましては、地権者の方に説明して了承を得ていますので、山砂採取が済んだ箇所から順次進めていきたいと考えております。

次に、町道米田大場線につきましては、本年度で鬼王大場線と接する終点の大場側が完了しますので、来年度より起点側となる米田橋の拡幅及び県道接続拡幅工事の設計に入り、令和3年度に工事着手する計画で進めておるところです。また、野中出登線においては令和2年度で完了する計画としていますが、社交金の配分次第で進捗に影響がでる可能性もあるのではないかと考えております。

次に集落営農についての御質問にお答えいたします。まず、①の法人立ち上げ後の協力・指導体制を尋ねるについてですが、農業を取り巻く情勢につきましては、議員も御承知のとおり農業従事者の高齢化、担い手や後継者不足等により今後の農業を守り、更に活性化させていくためには厳しい状況にはありますが、そのような中、本町では初めて昨年の8月に経営面積28ヘクタール、組合員28名による農事組合法人よなだが設立され、今後の農業経営のモデルとなる組織として期待をしております。お尋ねの協力・指導体制につきましては、設立直後は県の玉名地域振興局が事務局となり、町や農業公社を構成員とした中山間地域農業支援プロジェクトチームが、また毎月開催されている理事会においては町、振興局、JAの3者による支援体制をとり、協力や指導を行っているところであります。

次に②の組織地盤が確立するにはどう指導されてきたか。各地域に広げていくことができるか尋ねるにつきましては、まず中山間地域農業支援プロジェクトチームにおいて営農ビジョンの策定等の支援をまた毎月開催の理事会に町、振興局、JA3者が出席させていただき、その都度の課題等について助言などを行っているところであります。更に経営安定に向けては、平成30年度にはビジョン策定支援として高単価作物導入検討費や農地中間管理機構関連の協力金が個人や組織に交付され、今年度においては中山間農業モデル地区支援事業として県の支援が予定されている

ところであります。

最後に各地域に拡げていくことにつきましては、まずこの法人よなだが安定経営になり、そしてよなだは町のモデル地区として紹介させていただき、各地域において組織化を図るための推進をしていくとともに、現在上長田地区を始めとして新規の圃場整備の取り組みを推進しておりますので、整備と併せて一体的に組織強化を推進していきたいと考えているところであります。

以上をお答えしまして、この後の質問につきましては自席よりお答えさせていただきます。

また詳細につきましては、担当課長よりお答えします。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） それでは、1番目からいきます。県道大牟田植木線からいかせていただきます。私は質問しながら私は答えるのが今までの筋でしたので、一応、今日はあと残っている地区、そこをわかっておりますが、ちょっと建設課長も異動で代わられましたので引継ぎが十分あっているかどうか、そこをお尋ねして、確認のためにお伺いします。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） お尋ねの件で答えますが、大牟田植木線につきましては、町長の答弁もありましたように現在野中橋の歩道の改修工事を下部工のほうを行われております。それから歩道につきましては、継続的に今発注されまして野中橋から、一応予定では米田大場線の入り口の米田地区までを今回、来年の3月末までをとということで、工事を計画されております。それから先につきましては、来年度以降ということで、予算の配分次第ということで、お答えのほうは明確なことをいただいておりません。それから、北の辺田橋も上部工が残っておりますので、上部工は野中橋と合わせて予算が付けば、来年度合わせて発注したいということで、この時期につきましても、明確なお答えはいただいておりませんので、一応来年度ということで予定をお願いしたいと思います。そこまでは伺っております。

以上です。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） 大分引き継がれておるみたいですけど、あと今米田鬼王線と高速道路のボックスの山水苑の近くがありますよね。そこもちょっとお尋ねします。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） それから先につきましては、先ほども申しましたようにまだ事業の設計のほうはできておりますけども、工事発注というのが翌年度以降です

ので、来年度以降ですよね。令和2年度以降に一応計画をあげていますが、それからいつという時期のほうはまだ明確に出ておりません。ただ、先ほどもありましたように来年度までということですので、その予算を使いながら消化していきたいという旨のほうは伺っております。それ以上のほうはお答えをいただいておりますので、ここまでしかちょっとお答えすることはできません。申し訳ありませんが、よろしく申し上げます。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） 私はこの質問書を出してから、建設課のほうにも県のほうから連絡があつておるかと思いますが、もう先ほども申されましたように野中橋の下部工は今着工されております。それと今野中橋から金型プラザの前からこっこの米田大場線がどこの付近かわかりませんが、今良田建設さんが受けられてるみたいで今草刈りを終えて、されております。それは工期が3月の27日までとなつておるみたいで、今お答えに来年度というお答えがいただきましたけど、少し前倒して発注されとるのか、それともその区間がわかりませんがそこ辺りの把握はされておりますか。建設課長。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） 区間につきましては、今のところ2区間あるそうです。一応手前のほうを良田建設さんが今受けられて残りを津留建設さんということで伺っております。工事の距離につきましては、あまりありませんでしたので恐らく野中橋から米田大場線の入り口のところで、米田橋があるところですけども、そこまでが650メートルになっておりますので、恐らくそれを2等分されているのではないかと思います。恐らく本来であれば、おっしゃるように高速のボックスまでいければよろしかったんですけども、予算の都合上だと思います。半分で、300から300前後ぐらいを2本分けられているようなお話を聞いております。

以上です。

○8番議員（打越潤一君） ありがとうございます。それでは、こっこの大牟田植木線については、あとちゃんと副町長と建設課長との引継ぎがなされているみたいで安心しました。一応私のほうもそこは把握した上でお尋ねしたところです。

続きまして、一応ずっと2回ほど質問をさせていただきましたが、この遅れている原因というのは熊本地震のほかにもどういふもので遅れているという。ずっと答弁からすると二、三年ぐらいずっとずれてきているみたいがしますので、そこ辺りは執行部としてはどのような思いを持たれておりますか。原因といいますか、そういうとは。町長か、副町長かどちらでも結構です。

○議長（橋永芳政君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） 事業全体が遅れていることにつきましては、今議員もおっしゃられたとおり、熊本地震のそういった全体の影響というのは全くないということはないと思います。ただ、交付金で、事業に対する金額、そして地震に対する影響がある金額とそこ辺は直接関連していることはないと思いますけども、全体的な道路事業に関する費用というのは減少しているのは確かでありますので、南関町に限らず県内どこの市町村においてもそういった道路が計画されていた分よりも若干遅れるということは出てきてるんじゃないかなと思っておりますし、ただ今回の私たちの町の事業につきましては、最終処分場の関連事業でありますので、県ともお約束して進めてきたことありますので、これまでも先ほども答弁で申しましたとおり、要望はかなり強く続けてきておりますけれども、町民の皆様とお約束をした事業でもありますので、それが早く実現するようというところで、ほかの市町村と同じような状況ではなくて、なるべく早く進めようというところで要望はこれからもしっかりとして参りたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） ありがとうございます。前回熊本地震があつてから、こちらの玉名地域振興局のほうから応援が派遣されていって、こちらのほうの技術者といえますか、そういうのが大分応援に行っておられるみたいで、こちらのほうの事業がちょっと先延びされていったみたいですけど、今は私は名前は知っておればいいんですけど、知らないものですから異動等、新聞等に出ておりますが、ちょっと把握しておりませんので、そこ辺りはもうこちらのほうに地震等前ぐらいの人数あたりはこちらに帰って来られてるのかどうかをちょっとお尋ねしたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） ただいま、現在のところ従来、地震前と同じような人員配置なされまして、人は代わられておられますが、数は同じ人間が配置されております。今応援に行かれています方は玉名からはいらっしゃいません。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） ありがとうございます。そこ辺りの熊本地震の影響等あたりも含めて技術者等がそちらのほうで先行しますので、そこ辺りはちゃんと私たちも見極めて、対処しなければいけないと思っておるところです。そういう形で地震前の状態に県のほうも人員配置がでけるとことに対して、今後今までの分が国等の補助金、交付金関係があるでしょうけど、そこ辺りはどうにか安心できるかなと思っておるところです。あと、玉名八女線ですかね。玉名八女線も用地買収の進行状況は前から影響もあつてか進んでないかわかりませんが、そこもちょっとお尋ねをしたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） 玉名八女線につきましては、平成27年度測量の幅杭までを打たれまして、地権者に説明のほうされております。ただ、その後平成28年度から用地交渉に入りますよというお話で計画がありましたが、それ以降はどうしても大牟田植木線のほうに着眼したいということで、まずそちらに注入をされております。それから先についてはまだ用地の交渉にはいっておりませんということでしたので、事業がまだ止まっている状態です。このままでは大変危のうございますので、県としても一応交通安全施策の手段として外側線のラインを引き直したり、それから歩道を確保するためにコラドという車止めを設置して安全帯を設けるということで、一応簡易的には対応されてるということをお伺いしております。しばらくはこれぐらいの対応しかできませんということで回答をいただいております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） 何しろ、いろいろ想像し得ない地震とか大雨による被害とかそこ辺りが出てきますので、それぞれ年年によって予定されとった分がずれ込むというのは金が限られておりますので、そういうところは最大限の努力はされていると思いますが、ほんと執行部としましても苦しい立場かなど。私たちをお願いする立場としても、苦しい早く完成して欲しいという気持ちがありますが、なかなか痛し、痒しのところがありまして、本当はなかなか厳しいものかなど思っているところです。大体玉名八女線につきましてもわかりました。

あと、今度町道関係に移ります。米田鬼王線が私もちよっと臼間山開発のほうで会長をしておりますので、路線変更から今度新しく路線認定それと今度臼間山開発の期間を10年間というようなことで、新しくつくりました。一応このバンブーのところで止まっているわけなんですけど、そこの砂を採出する業者のほうからこの間お会いして、一応あそこにユンボとか置いてありますけど、上のほうは砂をとって、法面ですかね松を植えてある状態で、もうそこからずっと下に下ってきて、今のバンブーで止まっている分を砂をのけられるところに差し掛かっていると思います。それで砂を取り掛かったら早いということでおっしゃいました。そすともう一つの向こうの三池の向こうさんのほうが、砂をとって置いておくということが砂が流れたりとかいろいろあるもんですから、お客さんの要望に合わせて泥を取るということで、向こうのうすま苑ですかね。あちらのほうはちょっと遅くなるかと思いますが、こちらのバンブー側につきましては、砂のはけ次第ですけど、3月までにはどうにかなるかなというようなお話をしておりましたので、一応町としてもそこ辺りを確認されたかどうかちょっとお伺いします。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） 今お尋ねの件ですけれども、一応私どもも確認しまして、おっしゃるとおり採取のほうにつきましては業者さんのほうは3月までを目途に頑張りたいということでおっしゃっていましたが、これにつきましては一応今の段階の予定でございますので、確定ではございませんので、私どもも確定した時点で次の事業へステップアップしようかと考えてます。それと山砂におきましても山の持ち主様が違いますので、採取して置いておくだけでよろしい方はいいかもしれませんが、先ほどお話ありましたように、製品として出荷される方は長期間置いておくと製品として製品にならないということでしたので、恐らくその辺の兼ね合いで進捗状況がまた変わってくるのではなかろうか懸念しておりますので、今のところは3月の時点で終わりましたところで、確認したところで来年度どう進めるかということで検討させていただこうかと考えております。ですので予算につきましては当初は今のところは考えておりません。なおかつ、先に見えますのが、今設計をしています路線の設計は、一応山を削って下げて路線をつくるという計画にしていますので、今度は平場になったところで再度実施設計の見直しが必要になるのではなかろうかと考えておりますので、その辺の考えますと来年度はまたその辺の実施の設計の見直しをして、用地の交渉を進めていってということで、事業につきましては、令和3年度以降にならしないのかなということで今のところ計画をさせていただいております。早くなれば早くなる方向で進めたいと思っておりますが、今の見通しはそのところで考えております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） 何しろ、そこは砂をとったあとの町道と言いますか、そこは町道にしては幅が加工すればできるのであって、残りについては残地については事業者のほうで今後の運営のほうで役に立つ広さと言いますか、そういうのを確保出来るならですね、お互いに両方の取り具合見ながら、予算編成辺りにはとりかかっていったほうが一番ベストじゃなかろうかと、そこは私も思っているところです。早く早くすると法面と言いますか、そこが余計とられますのでそっちのほうにとっては通った後の分が使い勝手は悪いので、そこだったらそれがいいと思うところです。そっちはそれで終わります。

今度は米田大場線のほうに行きますと、今度は県道大牟田植木線の県道とこっちの方から出ました米田橋の出口の交差点と言いますか、三差路と言いますか、その交差点協議はどのくらい進んでいるかそこ辺りもちよっとお尋ねします。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） 米田大場線につきましては、一応本年度で終点側の大場線のほうに接続が完了しまして、大変いい道路ができあがっております。今度は起点

側になります。起点側の米田橋の改修とそれから町道の拡幅ということで、来年度から設計を始めて実施に移りたいと考えております。今言いました交差点協議でございますが、まだ協議用の図面ができておりませんので、令和2年度で設計を発注しますので、そこらで作りあげながら協議をしていきたいと考えております。そこにつきましても、恐らく早々に頑張りましたも令和3年度からの事業開始かなと考えております。今の見込みはそれで進めております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） 交差点協議はそのようにかかりますか。あと米田橋の下部工、上部工残っておりますが下部工については来年度の分で工事はできるとですかね。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） 申し訳ありませんが、まだ下部工の設計も入っておりませんので、来年度設計ということになります。となると1年先送りですので、まずは令和3年度からが事業着工しかできないという状況になっております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） あそこはもうだいぶ前から最初から下部工辺りはする分、向こう終わったら引き続き工事ができるものと思っておりましたが、令和2年度ちゅうは全然できないということですかね。そういうことですかね。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） はい。おっしゃるとおり申し訳ありませんが、令和2年度は現在のままになると思います。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） できるだけ、予算の付き具合もあるでしょうけど、努力していただいて、もう先ほどそこで登壇して言いましたけど、地元住民はそれを願っているところです。早期にお願いしたいと思うところです。

それともう一つ課題となるのが高丸付近ですね。あそこの部分がちょっと総務産業委員会でも、別件で米田公民館でありましたほうに行った帰り、委員さんに見ていただいたところがあるんですけど、そこ辺りもちょうど前の分と今度の新しか分の繋がり具合が、荷物を積んだ場合に右折とかあるいは左折とかする場合に、ちょっと傾いた状態であるもんですから、そこ辺りをこういうことあつてはならないんですけど、そのほうは来年、再来年以降になるわけですかね。高丸具合の交差点、これは四差路ぐらいのところですよ。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） はい。今おっしゃられました交差点の部分になりますが、

ちょうど両サイドから起点終点が上がりまして、上りきったところになります。あそこにはちょうど交差点ができておりますが、図面上ではうまくすりつくような設計になっておりましたが、実際現場を施行しますとそうではなかったというところで、かなり現場で苦労しておりました。苦肉の策で調整をして、今の段階で仕上がったということになっておりますが、確かにおっしゃるとおり片側路線に上ろうかすると、そういうところが出てくるということで、大変それは懸念しているところでございます。見直しのほうは必要ではございますが、何せ如何せん先立つものがございませんので、まずは現況で危ないところを再度チェックしながら見直してということになりますので、おっしゃられましたようにちょっと先送りになりますが、まずは本線のほうを完成させた後に取り組ませていただけないかなということで考えております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） やっぱりもう2年、3年、4年、5年ぐらいでしょ。やっぱいろいろ地元からお話が上がってくるかと思いますが、できるだけそこは対処していただくほかないかなと思うところです。うまい具合でければ何もないんですけど、やっぱり年度間をまたいで先送りとなると、やっぱり地元の方の今まで黙っておいた分が出てくるなら、そこ辺りがちょっと心配しているところです。

それとあと、委員会でも継続審査という形で山口からバンブーのところまで上がっているところもあります。そこもやっぱり車の往来がゴルフ場のほうに上ったら玉名に近くなったということで、交通量が多くなっている状況です。そこもこのまま遅れてということで建設委員会のも総務産業ですかね。継続審査、継続審査というようなことで持っていったいいものかどうか、私もそこで副委員長の立場でおりますが、そこをちょっと懸念しているところです。そこはちょっとどんなお考えか町長にお尋ねした方がいいでしょうね。

○議長（橋永芳政君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） 確かに今おっしゃられた道路に関して遅れているというのは、実際遅れている状況でありますけども、ただ今町全体の道路事業を考えたときに、この路線だけではなく、全ての道路事業が国、県の補助事業ということでそういったことで遅れておりまして、全体の事業費の中で、そこだけに全てをあててということは非常に困難な状況であります。先ほども申し上げましたとおり、最終処分場の関係でお約束している、そういった道路でありますけれども、ただ町内全体ほかの事業も進めるという中では、そこに予算配分を全て充てるということもなかなか困難な状況でありますので、処分場関係の道路については、なるべく早くしようというそういった考え方はもうこれまでも持っておりますし、これからもいろんな要

望も続けながらやりたいと思っておりますけれども、そこにほかの事業を全部今まで以上に遅らせて、そこに充てるというのはなかなか困難でありますので、やっぱり国県のお金をなるべく多くとるように私たちも努力して参りますけれども、そういったことで町全体を見たときに、ほかの事業も合わせて進めるということで、これからはそういった形で進めないとやっぱり難しいとかありますので、そういった御理解はぜひいただきたいというふうに思います。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） ほんと、そういう事情は私も十分に分かった上で質問しているところです。よろしくお願ひしたいと思うところです。

それと、野中出登り線につきましては、一応令和2年度ということでちょっと答弁いただいたようですが、あそこも金型プラザの前は交差点協議は野中橋のそば入ってると思いますが、そこ辺りは大丈夫なんですかね。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） はい。野中出登り線につきましては、当初から交差点協議は済ませておりますので、そちらのほうは心配ございません。申し訳ないのは今年配分された予算に合わせて工事は発注してありますので、ちょうど今年中抜けということで、真ん中辺をやっていると思います。県道口と先に仕上がった高速のサービスエリア入り口のところですかね。あそこの下までしかできてませんでしたので、来年度はお約束ですので、灌水のほうで事業計画を考えております。ただ、100%ではございませんので、うちの建設課としては来年は絶対完成させたいということで要求はあげておりますので、何とか満額つくことを願ひまして事業を進めたいと考えております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） あそこも野中出登り線もほんと南関町の企業だけでなく、隣の和木町の企業のほうにも通行量が多いですもんね。北の辺田のからあげ亭の方から入る車とこっちの金型プラザから入る車とほんと多うございますので、そのほうも来年度完成ということであれば、大分交通のためにいいんじゃないかろうかと思つるところで、ほんとあそこも交通量が多うございます。はい、ありがとうございました。

次、3番目の集落営農について御質問したいと思います。集落営農につきましては、去年の8月に法人よなだを設立しまして、去年はほんと県、町、JAたまなの指導が晩の7時からずっと毎回行っておりました。ほんと1年目は法人立ち上げというようなこともあってか、何べんも何べんも毎月毎月、御参加いただきまして、指導いただきまして感謝だけ申し上げるところでございます。それから比べると本

年は2年目ということで、あんまり1年目がおんぶに抱っこという状態でしていただきましたので、2年目に入りますと、JAたまなは私たちが全部事務とか何とかも素人ばかりですので、二、三年ぐらい応援するというこうとで、当初から話をさせていただいておりましたので、どうにかこうにか今回っているところなんですけれども、やっぱりいろいろまだ法人立ち上げの構成の中のメンバーの土地辺りは、不在地主とか相続がなされてない土地とかそういうのがありますので、そこ辺りもしていかないと、イノシシ対策とかそこ辺りがほんと自分とここで守っても側から耕作放棄地からイノシシさんが入ってきなはるもんだけん、なかなか作付けに苦慮しているところです。だから、そういうところも私たちが文書で先生の職員の派遣依頼とか、そこ辺りせにやいかんとですけど、なかなか来年度に何をするのかというのがまだ不十分でございますので、文書依頼とがなかなか前もってお願いできないということで、そこが法人としてこれからどうやっていくか、そういうとも何もかも勉強すつとが一番よかっでしょうけど、現実的にはなかなかそれができない状態です。それで、そこ辺りを町としても自分の席で待ってるんじゃない、米田に来ていただいて、すとみんなの意見が、私だけが町に来ると私だけしか入らない、私が言い漏らした分は伝わらないということで、いろいろな役員の方にも理事さんにも思いがあるとは思いますが、なかなかそうは伝わらなかった分がありますので、そこ辺りも当初ぐらいいかなくても、ある程度残りの分今言いました不在地主、耕作放棄地、農業公社跡関連ですね。そこ辺りの分はそのくらいの分については応援をお願いしたいところなんですけど。今後ちょうど今から先は冬場でございますので、別に忙しくありません。去年みたいに大麦若葉も2年目で、3年目から耕作しないということになっております。そういうことで排水とか、何とかが原因が米田の土場が悪いから、そこ辺りの対策あたりをしていかなければ、せっかく赤字を出してても2年は続けていただいたんですけど、そこ辺りを考えると私たちもそこをしていかないかん。だからそこを経済課のほうに応援をお願いしたいというところなんです。そこをどうにか町長、去年のあのくらいのペースで行ってもらわなくてもいいんですけど、ちょっと減らしてでも、何月か1回ぐらいは参加していただくならと思うんですけど。毎回毎回、文書で要請しなければいけないものか。あるいは何か月に1回していただくものか、そこ辺りをお願いしたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 経済課長。

○経済課長（東田彰夫君） 集落営農ですけれども、打越議員がおっしゃられたとおり町初めての集落営農組織ということで、町も非常に期待をしているところであります。歩き始めて1年ということで、その間はおっしゃられたように関係機関協力して支援に助言等行ってきたところございまして、現在は農協さんのほうで支援を

されているということで、一安心はしていたところでございますが、おっしゃられるように不安なところもあるように感じたところであります。

今後の支援につきましては、町の行政の立場、それから農協の立場いろいろございますけれども、当然成功させるためには努力は惜しみませんので、必要に応じてと言いますか、どんどん要請していただければと思いますので、それから依頼の様式等もお渡ししていると思いますので、その辺をちょっと記載していただければよろしいかと思っておりますので、御依頼のほうをできればお願いしたいと思っております。それと、行政や農協の立場だけではなくて、一番大事なのはやはり地元の組合長筆頭に計画書を見てみましたところ、5部門の各事業部がございますようですので、その中でも事業計画等を策定されていると思いますので、そういった中での機運の情勢とか、そういったものを非常に重要な部分などところがあるのかなとは思っていますので、一体的に成功するように進めていきたいと思っております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） ありがとうございます。何しろ文書作成が下手でございますので、なかなかそこまで回らないということが実情です。できるだけ努力してそのような形で、2カ月か3カ月に1回ぐらいでいいですので、そこ辺りを出したいと思うところです。その時には協力方よろしく願います。

それと先ほど不在地主とか言いましたけど、農業公社の関係も依頼すれば出てくるっつですかね。

○議長（橋永芳政君） 経済課長。

○経済課長（東田彰夫君） その課題の内容につきまして、各担当のほうでお伺いさせていただきたいと思っておりますので、何なりと御依頼をしていただければと思います。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） ありがとうございます。はい、それと県のほうからは3カ年計画というようなことで、モデル地区ということで、ほんと多額な金額をいただいてそれに向かって、1年目は大麦若葉がとれないもんですから、葉柳地区といえますか山口のほうですね。そちらのほうに今年排水対策ということで、なかなか業者さんの方が多うございまして、なかなかやっていただくというようなことができなくて、心配しておったところなんですけど、どうにか確保できまして年度内も暗渠排水のほうは葉柳地区はどうかできる見込みができて安心しているところです。それと、農業倉庫も一応米田の前の公民館跡地に、ビニールハウスと言いますか、そういう形のを補助いただいて、それを米田区で来年の総会で了解をいただいたならば、できるというようなことで一応予算的な面はいただいているところです。イノシシ対策ということで、やっぱりこれがないと集落営農と言いましても、

今はほんとイノシシが昨日も比呂志議員が質問されましたけど、大分餌付けストップ事業ということで、米田にも井上雅央先生という方が県のほうで餌付けストップを今強力に推進されております。それで米田のほうにも2回現地に来ていただいて指導していただいたところですよ。イノシシの住処とかあるいは補助をしてもらおうとか、そこ辺りも県のほかの地域の職員さんも参加していただいて年間五、六回ぐらい、そのくらい年度計画で県のほうでされているみたいで、そちらに米田のほうも餌付けストップのモデル地区ということで現地指導、あるいは現地で座学というようなことをしていただいているところですよ。これもほかの地域にしていくために、あれを講義に五、六回のうちに3回以上か何か出席すると餌付けストップの推進委員かね、そういうとにされるそうですもんね。そういうとがあるそうです。だから、南関町にとっても今米田が入っておりますので、井上先生という方があちこちに行っておられます。それでやっぱりここあたりは経済課、どうしても取り組むべき事業として昨日、比呂志議員がおっしゃったとおりのことです。何しろイノシシの目線があるそうです。その高さから下を見通しがきくようにしないとイノシシの隠れ家になるからそこをこう。

○議長（橋永芳政君） よかですか。質問者、もう少し要点をまとめて端的にお話をお願いします。いわゆる一般質問でございますので。質問をしてください。

○8番議員（打越潤一君） はい。そういうのをするために経済課もそこは講師を呼んで、各集落の代表者かそこ辺りを要請して欲しいと思います。そこ辺りの考えはどうですか。

○議長（橋永芳政君） 経済課長。

○経済課長（東田彰夫君） イノシシ対策につきましては、昨日もお話がありましたようにこの井上先生の餌付けストップ事業というのが、非常に県も注目しており推薦をしている事業でございます。昨年度から町の担当課のほうも取り組み地区を探しながら模索をしているところであります。如何せんいい事業とは申しまして、取り組み地区がなければどうしようもございませんので、引き続き取り組み地区を探して早めに取り組みをしていきたいとは考えております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） ちょっといろいろ長くなりましたけど、そういうとを出してみんなが共有して、そういう対策をしていかなければ地域の農地を守るためにはできない。だから私たちのところは手を挙げて、そんなしていただいたから今そのように私もほかの人から見ると少し出来る様になって、今のようなことが言えるものと思っているところです。

次行きます。あと、高齢化で担い手が不足するというので、人材育成と言いま

すか、そこ辺りを行政としてはどのように考えておられるか。そこ辺りをちょっとお尋ねしたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 経済課長。

○経済課長（東田彰夫君） 人材育成と言いましても、いろいろな方面があろうかと思えますけれども、今町のほうで今年度から専門知識を持たれました経営マネージャーに来ていただいておりますので、専門的な作付けにつきましては、マネージャーからのいろいろな指導をしていきたいというふうには考えてはおりますし、法人よなだのほうに対しても、昨年度からそういった協力助言等をしているところでございます。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） それをマネージャーさんが言っても一部の人というのですか、よなだにそういう人を1年目の課題として数人になっておりましたので、そこ辺りを全体に広げるには、様子見という方もおられたと思いますので、今度マネージャーさんあたりもよなだで呼ぶときは臨時職員でありますのでどうかと思いますが、それは時間内でせにやいかんですか。時間外でよかかそこ辺りをお尋ねしときます。

○議長（橋永芳政君） 経済課長。

○経済課長（東田彰夫君） これまで数名で話を聞かれていたというところでありましたけれども、組織のほうでぜひ大勢の方を取りまとめていただければ、大変有意義な指導になるかと思えますけれども、その時間帯につきましては基本的には勤務時間はございますけれども、必要であればその時間をずらしてでも対応は検討できるのかなとは考えております。

○議長（橋永芳政君） 8番議員。

○8番議員（打越潤一君） はい、ありがとうございます。

それでは、まとめに入ります。熊本地震等で国県予算が他自治体へ回るのは仕方ないにしても、産業廃棄物処分場を受けるに協力した地元の要望は早期の完了を望むものです。農業法人よなだが南関町のモデル地区として進めていきたいが、他地域と同様に高齢化、担い手不足のため課題があり、県町の引き続きの指導、支援を要望したいと思っているところです。

これで、私の一般質問を終わります。どうもありがとうございました。

○議長（橋永芳政君） 8番議員の一般質問は終了しました。

ここで10分間休憩をとります。

-----○-----

休憩 午前10時58分

再開 午前11時08分

○議長（橋永芳政君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

続いて、5番議員の質問を許します。

5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 改めまして、おはようございます。令和元年最後の一般質問になります。私のほうから町道除草作業の業務委託についてということで質問いたします。

町では町道除草作業の業者委託契約を例年されておりますが、本年は草が伸び放題で、作業されていないが委託契約はどうしているのか内容を伺います。また、除草作業がされず危険な箇所が見受けられるが、町としてどう対処しているかを問います。この件に関しては、再三、委員会また全員協議会で問うてきましたが、一向に改善されていないが、何故か再度強く問うものであります。

この後の質問は自席にて行います。よろしく申し上げます。

○議長（橋永芳政君） 5番議員の質問に対する答弁を求めます。

町長。

○町長（佐藤安彦君） 5番、杉村博明議員の町道除草作業の業者委託について。町では除草作業の業者委託契約を例年しているが、本年は草が伸び放題で作業されていないが委託契約はどうしているのか内容を伺う。また、除草作業がされず危険な箇所が見受けられるが、町としてどう対処しているかを問う。この件に関しては、再三にわたり委員会、全員協議会等で問うてきているが、一向に改善しないのは何故か再度強く問うの御質問にお答えいたします。

町では町道維持管理業務を目的として4地区に分け、4業者と工事請負契約を締結しております。この維持管理業務は簡易な維持補修や大雨時の崩壊土の除去、風倒木や竹等の除去、そして今回御指摘の除草作業が含まれております。除草作業につきましても、町道は基本的に各地区での除草作業をお願いしているところですが、どこの地区にも属さない箇所や、一部の通学道路について契約をした業者で行っているところ。内訳としましては、町道小原・上長田線を年2回、それ以外の町道を開村・田原線と町道鷹ノ原・石仏線を年1回として、3路線を契約業務の中に入れていただいております。

また、年に1回程度の除草作業であるため、草がすぐに伸びてしまいますので、除草回数が不足していることは確かであります。ただ工事をた業者も複数の工事等を掛け持ちされておまして、除草回数が増には対応が厳しいとの話を聞いております。またシルバー人材センターへも相談しておりますが、こちらも人材不足等で作業を断られているような状況であります。ただし、危険箇所につきましても、住

民の方から一報をいただき次第、現地確認を行い、業者もしくは建設課職員で対応しているのが実状でございます。

以上お答えしまして、この後の質問につきましては、自席よりお答えさせていただきます。

また、詳細につきましては、担当課長よりお答えします。

○議長（橋永芳政君） 5 番議員。

○5 番議員（杉村博明君） 今町長のほうから答弁いただきましたが、これは当たり前のことであって、改善方向には何か全然進んでないような気がいたします。町道の除草作業については3路線ということですが、この3路線、今年度夏場関村田原線ですかね、そちらのほうで見ますとちょうど八重丸から上り坂になりますよね。そこの両端がガードレールがありますが、そのガードレールが見えない状況、それと萱ですかね。そちらのほうで覆って道路が狭くなったような状況になって、車同士がすれ違おうと危ない状況でありました。今現在、その部分は草を刈ってあります。これは全協か委員会のほうで質問したときに、その後すぐ刈られております。で、今はガードレールも見える状況になっております。

続きまして、小原上長田線ですね。これは毎回お願いしてるんですけど、また大雨等降ったあと、竹が上から覆い被ってきている。枯竹が落ちている。歩道のほうにも竹が今現在でもある。その撤去もされていない。そういった状況であります。また、年に2回とか1回、この間隔では夏場1回切ってもすぐに伸びてきます。夏場はですね。この状況の繰り返しでありますので、この夏場が一番見えにくくなります。そういった状況ですね、業者も忙しいでしょうけど、危険なところは刈ってもらわないと事故があつてからは遅いんですよ。それとまた何回もイノシシの件が出ておりますけど、荒れてたらイノシシが道路を横断したり、また法面を崩して行ってる状況です。段々と荒れてくればイノシシ何かも頻繁に現われてきます。夜間なんか道路を車で行かれていると、イノシシが横断すると非常に危険な状況になります。そういった状況がありますので、どうしても今の時期は、草は枯れて見えなくなっております。今年は除草作業ではあっても刈ってはいなかったですね。草からし除草剤をまいていて、俗に言うぽんぽん草ですね。ぽんぽん草は葉っぱは落ちても茎の部分は残っております。その部分だけは道のほうに両方から生い茂っております。一緒なんですよ。車はどうしても傷がつきますから中央よりになってきます。対向車も中央寄りになって危ないんですよ。そういった状況が見受けられました、今年は。そすとまた委託料なんかも除草、草刈り機で刈られた場合と除草剤をふった場合、委託料は同じと聞いております。そういった状況は何で除草剤をふったのか、そういったのを聞きたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） ただいま御質問がありましたように、草刈りの件につきましてはおっしゃるとおりでございます。私どももわかっておりますが、予算の中の縛りにどうしてもかられまして、ほかにやることを考えておりますもんですから、どうしてもそういうふうな回数になってしまうのが今までの原因でございました。本来もう少し考えれば、自分たちも田畑を持っている立場上、1回、2回では当然無理ということはわかっておりますので、それを現実にもっていかないというのがまず意識が違ふことと思いますので、その辺は十分反省させていただきたいと考えております。除草につきましては、今熊本県のほうが推進をしているみたいで、今回玉名土木もやっているということで、ちょっと真似をしたような形でやってみたいということで若い者が言うておりましたもんですから、今回やってみましょうということでやってみました。成果が出るものと期待しておりましたが、おっしゃるとおり最初はよかったですけれども、あとからどうしても立ち枯れみたいな状態で、やっぱり芯の方は倒れてませんでしたので、また生えてきているという状態で委員会のほうでお叱りを受けるような形の状況になってしまったことは、本当に申し訳なく思っております。あれにつきましては、また併用しながらも行きたいとは考えておりますので、草刈りの回数の方はまた予算のほうと相談しながらやっていきたいと思っておりますが、とにかくどっかで捻出していかないけないと思っておりますので、その辺は考え方を変えていけば何とかできるんじゃないかなと考えております。職員のほうでも頑張ってみましたところ、一応できるころはありましたもんですから、今回はいくつかは自分たちで頑張ってみたところがございます。ただ、何せ素人集団でございますんで、業者が1日終わるところを3日ぐらいかけてやっておりますので、その辺のほうは御理解をいただきながらうちの職員も意識改革という上ではやらさせていただこうかと思っております。その辺が対応でございます。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 今建設課長のほうから答弁いただきましたけど、職員でやっているということなんですけど、以前、再任用の職員のほうでそういった作業をしてもらおうということで、聞いておりましたけど、今総務課に3名いらっしゃいますよね。その方をされているんでしょうか。

○議長（橋永芳政君） 総務課長。

○総務課長（北原宏春君） 今再任用の職員3名、業務係としておりますが、今やっている作業の中心は経済課のほうの仕事をやっております。経済課とそれから農業委員会ですね。のほうの作業をやっているのが主です。理由といたしましては、4月

からの経済課に配置されました再任用職員の方が、5月いっぱいまで退職、それと病
気等の休暇により職員が、経済課のほうで不足いたしておりましたので、そちらの
ほうの助けというか、そちらのほうをメインに2人の方は1人はほとんど常駐で、
1人はそちらを中心にというところで、現在はもう1人の方も農業委員会関係の調
査等をやっていたと聞いています。ほかにも総務課の業務とかほかの業務は
もちろん間あいだではされていますが、5月、6月、7月、8月ですね。そういつ
た経済課関係の業務が多かったということでございます。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 名前言ってははっきりした方がいいんですけど、名前挙げませ
んけど。経済課のほうでされている職員の事務のほうはされてると思います。見た
目ですぐわかります。私が言ってるのは総務課のほうの3名の方、当初は草刈りを
されていたのを見ました。その後、全然その1回であとは見たことはありません。
町長が言われたのはそういったことをしてもらおうというということで、再任用で雇
われたと思いますが、どうでしょうか。

○議長（橋永芳政君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） はい、この道路の除草等につきましては、議員も申されました
とおり何回もそういったお話を伺っておりますので、ぜひ再任用職員で対応できる
ようにという思いは私は思って、そういった総務課のほうに業務係として配置をし
たわけでありまして。そういった1年目はある程度できたかもしれませんが、今年
度においては、今総務課長の方から答弁しましたとおり経済課、農業委員会のほう
がどうしても人的で不足しているということもございまして、そちらのほうに常駐
していることもありますので、できていないような状況であります。草刈りも1人
ではできませんので、やはりできれば3人体制ぐらいでそういったことをやりたい
と思っておりますので、当初今議員申されましたとおり私の思いとしては、どうし
ても業者の工事発注だけではできない部分を、再任用職員でやりたいとそういった
ことも考えておりましたので、全体的な人員配置を考えてこれから先もそういった
再任用職員の皆さんには道路整備とかも含めてやれるように、そういったことを全
体の中で考えていければと思っております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） どうしても何回も言いますが、夏場どうしても草が生い
茂るんですね。これは私のほうから言わなくても御存知だと思います。見れば、
夏場は青々とした草が覆い被って、ガードレール見えないんですよ。両脇ですね。
そういった状況で、非常に危険です。そういったのは見られた時点で、指導して切
らせるようにしないと、いつまでもんほったらかしでこの枯れた時期に刈ったって

一緒なんですよ。一番危ないときに切らないと何の意味もありません。また小原上長田線これは歩道でしょうか車歩道でしょうか。どちらでしょうか。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） 小原上長田線につきましては、従来の間隔で整備をしておりますので、歩道ということになっております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） あそこは通学道路です。自転車で賢木の方からの中学生は通っております。どうしても危ないんですね。竹の笹がこぼまっていたり枯れ竹が電線に現在でもかかっている部分があります。そういった状況の中で道幅もどうしても、朝はあそこは通勤の車が非常に飛ばして多いです。ちょうど学生が通学その時間帯と重なっております。非常に危ないです。自転車は歩道のほうを通っておりますけど、危険なところは車道のほうに出て通っております。非常にどちらを自転車は通って行くべきか、その辺はどう思われますか。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） 整備した当時は一応歩行者と自転車兼用ということで考えられておりましたが、実際のところ自転車と一緒にしますと3メートルぐらいありますよということで基準が変わりました。この度法改正になりまして、自転車と歩行者と一緒に通行してはならないという道路交通法の改正がなされておりますもんですから、今新たに国のほうから来ている分は、今の自歩道は歩行者だけにしなさいということで警察のほうからきております。土木のほうでは自歩道と一緒に作っておりますので、一緒にできることになっておりますが、現在のところは歩行者は歩行者のみ、自転車は車道を行きなさい。なおかつ車道の自転車の横幅を取りなさいということで指導を受けるような時代になっております。少し法が改正になっておりますので、その辺りが若干基準に合わなくはなっております。一般的に考えますと歩道を走っていただいたほうが幅員も狭うございますので、確におっしゃるとおり車のほうが通りやすいと思う現状でございますが、若干法が変わってきたことによりまして、私たちも考え方を変えないかんとかなという時期には来ております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 実際は歩道のほうを自転車も通っております。でも先ほど申しましたように危ないところは車道のほうに出て通学しているのを見ます。出たり入ったりするのが非常に危ないですね。そこら辺をはっきりと自転車も歩道をいいんだということではないと、どっちを通っていいのか、また事故があった場合にはどうするのかそういったところははっきりと学校のほうにもちゃんと言っておかないと、もしも事故があった場合には、子どもがもし車道のほうを行ってて事故

に遭うとか、そういったことがあれば責任問題が出てきますね。そういった状況が生まれないようにしっかりと指導していつてもらいたいと思います。それと、もう何回もこの件はその場所の件ですね。いうなれば小原上長田線、玉名北部環境から下り坂ありますよね。その間が非常に竹が覆い被っております。防犯灯も見えにくい状況であって、一度は一般質問をしたときに、その後枝なんかも切られて対処されているのは確認しております。その後また同じ状況が出てきていて、あそこ電線が九電柱かN T Tかちょっと確認がしておりませんが、そこに枯れ竹がかかっております。これも撤去しないとまた危ない状況であります。竹が雨降ったりすれば、竹がまた上のほうから覆い被ってきます。今は枯れておりますので、枯れた笹そういったのが積もっております。そういった状況がうまれて自転車通学なんか非常に危ないです。これも何回も言っております。だからどうかしてくださいという質問をしてるわけなんですけれど、一向にこの状況が改善されておられません。この状況をどう思われるのか聞きたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） はい。御質問のとおりでありまして、通学に危険なような状況が続いているということでもありますので、先ほど、私の答弁もしましたとおり建設課長もですけれども、そういった状況を何回も確認しながら、そういった状況は危ない状況は取り除いていくと。そういったことは議員も私たちも同じような考えでありますので、なるべく確認するのを増やしそして、業者にお願ひできる分は業者にできない分は職員が対応するよとということ、心掛けてこれからなるべくそういったことがないように努めて参りたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） この状況がもう何回もこの質問は、先ほども申しましたように全協とか委員会とかで一般質問もしております。この状況が毎回変わらない。この改善をどうか真剣に受け捉えてしてもらわないと、毎回毎回今回も質問して、また次もせなんということだったら何もなりません。今回を最後にしていきたく思いますので、そういった状況が私の質問の主旨から理解いただいて、どうかこの件をもっと改善してもらわないと小原上長田線ここ何回も言っておりますよね。この状況を生まないようにもっととことん改善しないとあそこは毎回なんですよ。竹が上の方から覆い被る。孟宗竹とかですね。女竹、真竹とかそういったのが非常に危険です。あそこはですね。また笹が積もりますからそういった状況をもっと、それと年間に2回と聞きますけど、年間2回じゃ夏場はすぐ生えてきます。そこら辺の回数を増やすということはできないでしょうか。予算をもっとつけてですね、そういったところに予算はつけるべきじゃないかと思うんですけど、いかがでしょ

うか。

○議長（橋永芳政君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） はい。この4校区に分けて工事発注しておるわけですが、その中で冒頭の説明で申し上げましたとおり、崩壊土の除去とか風倒木やら竹の除去ということで、もちろん竹は含めておりますけれども、そういったことでありますので、全体的な予算の中で除草と竹の除去もしておりますので、必要であればその予算をその校区だけを増やすということも考えていく必要があるでしょうし、先ほども申しましたとおり業者でできない分は職員がやる。そして再任用職員、この再任用職員を有効活用して、その対応ができるようにということで、当初から考えておりますので、そういったことをもう少し今年度できなかった分を検討をしっかりとやって参りたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 今言われましたように、再任用ですね。当初はそういった考えであってされてたと思うんですよね。今は経済課のほうが忙しいからそっちに回すとか、それじゃ任用の仕方がちょっとおかしいんじゃないかと思うんですよ。ほかももともと経済課のほうにこられてますよね。その方が逆に総務課が忙しいからといって総務課のほうにやられますか。この現在どこに所属されてるんですか、その3名は総務課ですか。経済課ですか。

○議長（橋永芳政君） 総務課長。

○総務課長（北原宏春君） 業務係につきましては、総務課のほうの職員として配属をされております。業務係につきましては、各課からの依頼、こういった業務を手伝って欲しいという依頼を受けて、そして職員を出しているということで運営をいたしております。現在は経済課のほうはどうしても業務ができないということで、経済課を中心に農業委員会に職員を派遣と言いますか、出しているということでございます。各課からの要望に基づいて、調整をしながら業務係が動くということで、町長の思いは除草管理だったという当初の思いはあられると思いますが、業務係として行っている業務は役場庁舎内の全体の業務の中で、依頼があったことを調整しながら補助していくという形で行っております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 経済課が忙しいから、そちらのほうに回す。だったらその3人は今まで暇だったんですか。何してたんですか、その3人は。経済課の仕事に行く前は何してたんですか。

○議長（橋永芳政君） 総務課長。

○総務課長（北原宏春君） 経済課の前は、ほかの課の依頼事項を処理をいたしており

ました。もちろん総務課の以前は町長の運転手も含めて、総務課関係のは郵便関係もですね。それも今はされてますが。それから4月の時点では、まだ経済課の配置も特にそのまま配置されてましたので、4月で申しますと関所マラソンの道路関係の除草とかは、4月の時点では業務として行っております。それから各課から依頼あった封入とかですね。そういったことをやっております。5月以降になりまして、そういった事態になりましたので、経済課を中心に支援をしているという形になっております。去年は除草作業とか工業団地の除草も確かあったとは思いますが、そういったものは去年は随分やられていたと記憶しております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 今ですね、工業団地の件もでましたけど、あそこの状況は見られたことはありますか。最近。

○議長（橋永芳政君） まちづくり課長。

○まちづくり課長（坂田浩之君） 確認しております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 確認されてて、除草作業はどういうふうに思われましたか。

○議長（橋永芳政君） まちづくり課長。

○まちづくり課長（坂田浩之君） やはり草が伸び放題で、早く除草作業をする必要があるなと思っております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） そちらのほうも業者委託とかされてますよね。

○議長（橋永芳政君） まちづくり課長。

○まちづくり課長（坂田浩之君） はい、しております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） されてて、委託はされてても実際、除草作業されてないということはどういうことでしょうか。

○議長（橋永芳政君） まちづくり課長。

○まちづくり課長（坂田浩之君） あそこの除草に関わる設計と言いますか、範囲指定あたりを建設課のほうに依頼をしております、その設計に基づいてうちは総務課のほうで入札事務を行っております。ちょっと時期を逃したんですが、現在その事務をやっているというところで、時期は逃したというところはいなめません。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 何かですね。時期を逃したということですけど、これは毎年ですね、行うことなんですよ。だから時期を逃したて言い訳じゃないですけど、これ毎年決まってるんですよ、その委託はですね。しなければいけないとわかっ

てて今の時期になって、今からということであって、今もう枯れてる状況なんですよ。非常にあの辺もイノシシが出てくると聞いております。あそこは会社帰り、通勤、非常に多いですよ。会社自体が大きいから、通勤される方も非常に多いです。イノシシの住処、そういった状況になっている状況じゃないんでしょうか。非常にせっかくの工業団地であって、町がそうやって業者を委託してされるのであれば、もっとてきぱきと進めてされないと、非常に地区の方も困るんじゃないか。まわりの田畑もありますし、そういった状況がイノシシの住処になってイノシシが増える。そこをイノシシが徘徊するような状況になってきている状況を、しっかりと認識してしっかりと除草作業も大事なんですよ。人が散歩されたり歩いているときに、イノシシが出てきたりすれば非常に危ないです。また、通学路ですね。先ほど申しました小原上長田線、あの辺もイノシシが出ている状況ですよ。そういったところを非常に最近イノシシの話ばかりでありますけど、まだまだ事故が大きな事故が起こってはいいですけど、人的なですね。その事故が起こる前、町が対処しないと困るんですよ。また町道が荒れてたら非常に町としてのイメージも悪いです。南関は県境です。大牟田のほうに行けば、非常に草刈り等、夏場とか非常に道路綺麗にされております。大牟田のほうから南関のほうに入ってきたら、草が伸び放題、イメージが悪いです。南関町何してるんだということになります。だから、やっぱり大事なんですよ。そういったところに予算が4地区あって、振り分けるということではありますけど、足りない部分は予算をあげてもそういったところに使っていくないと、一番大事なことじゃないでしょうか。いかがですか。

○議長（橋永芳政君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） 先ほどの答弁と全く同じですけれども、来年度以降そういったことでしっかり考えていきたいと思っております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） しっかりと考えると言われたのは、予算的にもしっかりと付けるということで理解してよろしいでしょうか。

それでは、今のをしっかりと私も聞いて議員の皆さんもしっかりと聞かれましたので、もう少し南関町の道路が良くなるようにしてもらいたいと思っております。関村の石仏線ですか、こちらのほうも上のほうにはセキアがあります。やっぱり町外の方が来られます。非常に南関町の見え目もバスの中からとか、自家用とか見られるとき、草が伸びてたら非常に見苦しい状況がないようにしっかりとしてもらいたいと思っております。また、先ほど申しましたように関村田原線そちらのほうも孟宗竹、そういったのが非常に道路際に生えております。そういったのが覆い被ってきております道路のほうにですね。その孟宗竹、真竹ですね、一般的に。そういった竹が道路

に倒れてきて、それを大型車が踏んでいって、そのままの状況のときがあります。そういった大雨の時期ですね。梅雨時期とかそういった雨が降ったあと。必ずそこから辺のパトロール、そういったのをされて、危なかったらすぐにでも撤去、今年は私も手伝って危ないから撤去したところがあります。すぐしないと車がずっと通りますから、段々と踏んでいって危ない状況なんですよ。だから町のほうとしてもされてると思いますけど、もっと大雨の降ったあと、すぐに回るようにして確認をしていただきたいと思いますけど、いかがでしょうか。

○議長（橋永芳政君） 建設課長。

○建設課長（嶋永健一君） おっしゃるとおりでございます。私ども維持班を使いながら、なおかつ職員も3班に分けて、雨の降ったあとは見回りをしております。背が届く範囲につきましては、その都度伐採しておりますが、どうしても高いところにありますと、私どもではできませんのでやっぱり依頼している業者をお願いすることになります。業者の質と言いますか、中身にもよりますけども、さばけるところはさばけますし、さばけない業者はさばけないところでちょっと危惧しているところが本音でございます。その辺は私どもがもう少し頑張って指導すべきことだと思っておりますので、肝に銘じて頑張っていきたいと思っております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 業者によって綺麗にされているところもあります。業者によって、これでされたんだろうかという状況もあります。同じ委託料で払っていただければ、やっぱり綺麗に最後までしていただきたいと思います。これは業者次第で少しは若干は、見た目も変わってきます。除草をされてもこの辺はいたしかたないかなと思うんですけど、やっぱり夏場、この青々とした時期ですね。何回も建設課のほうも担当は見て回られると思います。ただ、見て回るんじゃないかと、危ないと思ったら私も危ないと思うのに、職員が危ないと思わない訳はないと思います。同じ見た目であって、そういったところは確実に担当職員が見られて危ないと思ったら、どうにか対処していかないと、業者がするからそれまで待とうという考えであっては非常に困るわけなんです。何回も言いますが、事故があってから町の責任になりかねない。そういった状況がないようにしっかりと道路の管理していただきたいと思います。

また、町道だけでなく県道、県道もこれは県の管轄ですけど、非常にこのところ除草もしないところがあります。今はされてた県の管理のところ、そこをされてない、草は伸び放題、見えなくなる、歩道まで出てきている。そういったのを町のほうからでもしっかりと県のほうに言ってもらわないと、歩道を散歩されている方が非常に多いです。そういった歩けない、歩道に先ほども言いましたように覆い

被ってきている。歩道は狭くなっている、そういった状況が見受けられてきております。県の先日、建設課長にお話を聞いたら予算がつかないということですが、予算じゃないですよ。人の命も関わることなんですよ。県のほうにしっかりと指導していつてもらいたいと思いますが、町長いかがですか。

○議長（橋永芳政君） 町長。

○町長（佐藤安彦君） はい。県の事業につきましては、道路改良のみならずそういった維持も非常に重要なところでありますので、そういった維持についても、要望に含めながらしっかりと要望して参りたいと思います。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 例で行きますと橋本製菓さん、その前が背高泡立草が道路の反対側ですよ。今橋本製菓さんの前は綺麗に刈られております。反対側ですね、歩道があるほう。その部分が背高泡立草、そのままたってるんですよ。その先は個人的に刈られております。個人の方がですね。でも個人が刈られているところも県の維持されているところなんですよ。県が管理されているところなんですよ。でも個人宅が、草が生い茂っているから刈られているんですけど、その先インターまでの道路沿いですね。宮ノ前の波多野モータースに下りるところから先は綺麗に刈ってあります。そこから手前ですね。迎町交差点までの間。そちらのほう刈られてないんですよ。これが県のほうも担当者によってその年で変わる。今年は予算がつかないから刈らない。そういった状況でできないので、しっかりと町のほうから県のほうに振興局のほう行ってもらわないと、今まで刈ってあったのを予算がないからといって刈らない、これじゃ危ないですよ。非常に散歩されたりされてる方が非常に多いです。その部分はですね。歩道の半分以上、背高泡立草が出てきたり、雑草が生い茂って、前は綺麗にされてました。ここ何年かですよ。県の考えが変わったのか、担当者が変わったのかわかりませんが、そういったところもしっかりと。そこだけじゃないと思います。南関町の県道あたりはそういった部分が非常に多く見受けられます。そこら辺をしっかりと熊本県も市内だけが熊本県じゃないんですよ。熊本県の北の玄関口であります、南関町も熊本県なんです。福岡県に行けば先ほど申しましたように綺麗に刈られています。熊本県に入れば皆さんもわかっていると思います。非常に草伸び放題。そういったのを県も町も一緒になって環境、いくら住みよい南関町とよく言われますけど、そういったところ綺麗にしていけないと来られる方、移住されている方、やっぱりそういった見た目もあると思います。だから、しっかりとその辺、維持、道路作った、つくるばかりじゃいけないんですよ。後々の管理もしっかりしていけないと非常に見苦しい。また環境にもよくない。交通安全にも関する。そういった状況です。しっかりとその維持関係もしっかり

としていつてもらいたいと思います。先ほど改善していくということで、しっかりと今度この件に関しましては、変わったらもう言う必要ないんですよ。何回もですね。これが最後にしたいと思います。この件に関してはですね。質問するのは。だからしっかりと今後対処していつてもらって、町のほうもしていつてもらいたいと思います。

それと、先ほど申しましたように、再任用の方も当初は先ほど申しましたようにしっかりと草刈りもされてた。私が見たのは1回ですけど、当初ですね。再任用されてその後1回も見てない状況なんですけど。そういった事務は事務でされていいんですけど、時間その事務が経済課が忙しい。ほかの課が忙しい。そういったところに回すよりも、こういった維持のほうが一番大事と思うんですよ。そういったところに重点的に再任用の方も、町長がそういった考えであって雇われたと思うんですけど、その辺をもっと改善、雇い方をそういったのをもっとはつきりと、あっちが忙しいからこっちにやる。こっちが忙しいからこっちにやるそういった任用の仕方はおかしいんじゃないかと思うんですけど、いかがですか。

○議長（橋永芳政君） 総務課長。

○総務課長（北原宏春君） はい。再任用の方の今の業務係につきましては、そういった先ほど申しましたように、各課それぞれの業務の支援、補助をするという形で係が始まったというふうに認識しております。その中で大きな業務としてそういった維持管理があったと思いますので、維持管理が現在の状況では対処できてないというのは事実ですけども、今度人員配置また町長がされることですが、4月以降の配置状況で対応できるようにということで、考えていきたいというふうには考えております。

○議長（橋永芳政君） 5番議員。

○5番議員（杉村博明君） 新年度から期待しております。しっかりと再任用の雇い方も、もっとしっかりと考えてもらって、町のためになるような雇い方をしていつてもらいたいと思います。この3人ができないということではありません。仕事は仕事としてやっていつてもらいたいと思いますけど、何をされているのかというのがはっきり見えてこないんですよ。職員の方はもう決まった仕事があるからできるんですけど、再任用でそういったあっちにいる、こっちにいる。何も仕事をされていないというわけではないかと思うんですけど、しっかりと見えるような仕事を与えて、また役場あがりのOBですので、非常に先輩として扱いにくいかと思いますけど、その辺は割り切って雇っていかないと、言う所はしっかりとってもらわないと雇われる方、再任用の職員もわからないと思います。しっかりとその辺は十分町長のほうからも指導されて、町として雇われてるんですから、そこら辺はしっ

かりとしていってもらいたいと思います。

まとめに入りますけど。この除草作業、業者委託、新年度からもっと改善していってもらうという話を聞きましたので、これからもっとよくなるんじゃないかと思っています。でですね、通学路そこら辺はしっかりと教育課のほうもたまには見ていって、危ない状況であれば、建設課と一緒に対処していってもらいたいと思います。また、工業団地の部分の除草作業も年間決まっておりますので、もっと早く対処して草刈り等をしていってもらいたいと思います。また、竹が覆い被ったりなんたりすれば、大雨の時期そういったその後すぐに状況の把握をしていってもらいたいと思います。新年度の予算に期待しております。

私の質問はこれで終わりたいと思います。以上です。

○議長（橋永芳政君） 以上で、5番議員の一般質問は終了しました。

これで本日予定していました一般質問は終了しました。明日11日は午前10時に本会議場に御参集ください。

これで散会します。起立、礼。お疲れさまでございました。

-----○-----

散会 午前11時58分